

(1) 目的別歳出

目的別経費の構成割合をみると、民生費64億6,237万7千円（構成比39.1%）が最も大きく、次いで衛生費24億5,484万5千円（同14.8%）、土木費21億7,730万5千円（同13.2%）の順となった。

また、土木費、民生費、災害復旧費などが前年度に比べて減となった一方、商工費、教育費などが増となった。

土木費は、5億264万5千円（18.8%）の減で、都市計画道路高田上土狩線の用地取得に係る償還の一部終了や納米里公園整備の完了に伴う減などが要因となった。

民生費は、4億4,288万2千円（6.4%）の減で、新型コロナウイルス感染症対策として実施した子育て世帯や住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の減などが要因となった。

商工費は、1億6,965万5千円（127.1%）の増で、企業立地推進事業費や緊急経済対策プレミアム付商品券事業費の皆増などが要因となった。

一般会計歳出決算状況（目的別）

（単位：千円・%）

款 別	予算現額 (A)	決算額 (B)	(A)－(B)の内訳		令和3年度 決算額(C)	増減額 (B)－(C)	(B)の 構成比
			翌年度繰越額	不用額			
1 議会費	141,854	132,301		9,553	120,820	11,481	0.8
2 総務費	1,792,885	1,676,232	4,202	112,451	1,785,573	△109,341	10.1
3 民生費	6,659,189	6,462,377		196,812	6,905,259	△442,882	39.1
4 衛生費	2,683,579	2,454,845		228,734	2,490,722	△35,877	14.8
5 労働費	44,218	42,019		2,199	39,620	2,399	0.3
6 農林水産業費	142,284	123,415		18,869	115,490	7,925	0.7
7 商工費	333,695	303,160		30,535	133,505	169,655	1.8
8 土木費	2,304,055	2,177,305	65,219	61,531	2,679,950	△502,645	13.2
9 消防費	649,423	645,346		4,077	603,398	41,948	3.9
10 教育費	2,094,670	2,025,059		69,611	1,859,292	165,767	12.2
11 災害復旧費	90,020	81,754		8,266	191,306	△109,552	0.5
12 公債費	367,000	366,383		617	355,791	10,592	2.2
13 諸支出金	59,872	59,871		1	56,402	3,469	0.4
14 予備費	24,864	0		24,864	0	0	-
計	17,387,608	16,550,067	69,421	768,120	17,337,128	△787,061	100.0